

第2回

多文化社会

実践研究フォーラム

多文化社会を支える連携・ネットワーク  
— 多様な『外国人』の受入れと  
共生について考える

2017年12月9日(土) 13:30~17:40  
(受付 13:00~13:30)

[場 所] 早稲田大学 戸山キャンパス (受付 34号館 453教室前)  
東京都新宿区戸山 1-24-1

[対 象] 日本の多文化社会の問題解決にかかわる実践者・研究者

[定 員] 150人 (先着順、要事前申込)

[参加費] 2,000円 (交流会参加費を含む)

申込方法 下記URLよりお申し込みください。(要事前申込)

<http://www.kokuchpro.com/event/tasskforum02/>



主催：多文化社会専門職機構

## 第2回 多文化社会実践研究フォーラム

# 「多文化社会を支える連携・ネットワーク — 多様な『外国人』の受入れと共生について考える」

現在、「外国人」の受入れについて各方面で活発な議論が行われています。労働の分野では、今年11月には新しい技能実習制度が施行されました。また、日本語教育の分野では、「日本語教育推進基本法」(仮称)を議員立法で制定する動きがあります。このように、各分野において「外国人」を受け入れていくための体制整備に向けた動きが活発になっています。また、日本における難民との共生も重要な課題となっています。

一方、これらの全国レベルでの政策動向と並行して、あるいは国に先駆けて、地域では多様な外国人の増加・定住化が進展しており、同時に、彼らを「住民」として受け入れ、共生するための取り組みがなされてきました。各分野で体制整備の議論が活発化している今こそ、これまで共生に取り組んできた人々の経験や知見を共有し、「外国人」を総合的な視点で住民として受け入れるためのグランドデザインを描くことが求められます。

そこで、このフォーラムでは、共生社会の実現に取り組む人々が集い、多様な「外国人」を地域で受入れていくための展望や課題を語り合うとともに、分野・地域をこえた連携・ネットワークについて探りたいと思います。

### Time Table

13:30	<b>開会あいさつ</b> 多文化社会専門職機構 代表理事 野山広 (国立国語研究所)	16:40	<b>全体会Ⅱ</b> 「多文化社会を支える連携・ネットワーク」 ● <b>報告者:</b> ・高柳香代 (多文化社会コーディネーター/多文化共生ネット・九州) ・松岡真理恵 (多文化社会コーディネーター/浜松国際交流協会) ・山西優二 (早稲田大学) ● <b>コーディネーター:</b> ・菊池哲佳 (多文化社会コーディネーター/仙台観光国際協会) ● <b>コメンテーター:</b> ・阿部裕 (明治学院大学) ・伊東祐郎 (東京外国語大学)
13:35	<b>全体会Ⅰ</b> 「分野横断的な受け入れと共生の可能性を探る」 【招待講演と鼎談】 ● <b>招待講演者:</b> 中川正春 (衆議院議員・元文部科学大臣) ● <b>鼎談者:</b> ・井上洋 (元日本経済団体連合会) ・渡戸一郎 (明星大学) ・野山広 (国立国語研究所)	17:30	<b>閉会あいさつ</b> 多文化社会専門職機構 副代表理事 青山亨 (東京外国語大学)
15:00	<b>分科会</b> 「多文化社会における『共生』と『連携』を問う」 【分科会A】 「自治体・地域間の広域連携で多文化社会の諸課題の解決をめざす」 ● 石川秀樹 (清瀬市議会議員) ● 聴き手: 高柳香代 (多文化社会コーディネーター/多文化共生ネット・九州) 【分科会B】 「技能実習制度における現状と課題」 ● 指宿昭一 (弁護士) ● 聴き手: 松岡真理恵 (多文化社会コーディネーター/浜松国際交流協会) 【分科会C】 「多文化社会におけるコミュニティ通訳・相談通訳の役割」 ● 三木紅虹 (相談通訳者、医療通訳者) ● 聴き手: 大野直子 (順天堂大学) 【分科会D】 「難民の受入れと共生に向けての現状と課題」 ● 赤阪むつみ (難民支援協会 (JAR)) ● 聴き手: 山西優二 (早稲田大学)	18:00 (18:50)	<b>交流会</b>

### Contact

多文化社会専門職機構

電話: 03-6261-6225 メール: office@tassk.org URL: http://tassk.org/

### Access



会場: 早稲田大学戸山キャンパス (受付: 34号館 453教室前)

住所: 東京都新宿区戸山1-24-1

最寄駅: 東京メトロ東西線 早稲田駅、東京メトロ副都心線 西早稲田駅